

「カバー問題」

坂口 裕靖

車載音楽ソースとして、Amazon echo (旧タイプ) を使っています。Amazon echo の場合、基本的に wifi 必須なのですが、USB からは電源だけ利用し、ルータとして稼働する、いわゆるドングルタイプのルータを使っています。車の電源を落とすと勝手に落ちるので、細かいことを気にする必要のないのがいいところ。もっとも、XV のシガーソケットは2系統あり、片方はアイドリングストップで切れやがるので注意が必要。電源供給能力に注意しながら使う必要もあるでしょう。

まあでも、とりあえず車で走る範囲については、大抵の所で SIM が繋がり、なのでネットが使える状態になってます。ありがたいですね。ネットが使えるれば、Amazon Music も使えるわけで、車載音楽ソースとして利用することができるわけです。

Amazon Music に限らない話なのかもしれませんが、やはり収録されている楽曲が今ひとつ薄いのが残念な所。例えばウルトラシリーズの主題歌を順に聞きたいとか思うじゃないですか。まあ最初をどうするかは色々あるとして、とりあえずここはウルトラマンからスタートするとしましょう。そいでもって、Amazon echo に「アレクサ、ウルトラマンの歌かけて」ってリクエストすると、オーイシマサヨシさんの「ウルトラマン R/B」がかかってしまうわけです。いや、そうじゃないんだよー。ここはウルトラシリーズをたどりたいたいだから、最初の、オリジナルの「ウルトラマンの歌」が聞きたいんだよー。とは思いますが、運転中だし詳しいことは思い出せなかったりするので、泣きながら「アレクサ、黙って」とか言うしかないわけです。本当の正解は

「みずず児童合唱団、コーロ・ステルラの『ウルトラマンの歌』」をかけてほしいんだよな。でもね、これ入ってないんですわ。少なくとも2020年夏の時点では入ってません。

それ以前の問題として、alexaの制御ワードとして「...の歌」というのがあります。これ、alexaが入ってるビデオ機器を制御する場合が絡むからなんでしょうが、例えば「ガンダムかけて」とか言うとな「fireTVで再生しますか?」とか聞かれてくるわけです。「...かけて」が再生するというアクションを意味しているので、動画を再生しようといきり立ってるわけですね。これをなだめるために「...の歌をかけて」と指示するわけです。これを使うと、音楽等を再生するのか、とおとなしくなります。

さて、初代ウルトラマンの主題歌は「ウルトラマンの歌」という名前でした。しか

One Point BUZZ WORD

キングエクスプレスザビューン

キラメイジャーロボシリーズっていうけど、主役メカなんて一つじゃないの?とか思ってたら大間違いでした。まずキラメイジャーサイド側でキラメイジン(消防車、スポーツカー、ショベルカー、ヘリコプター、が合体し、飛行機が剣になるロボット...本編見てないと何言ってるかわかりません)、キラメイシルバー操る魔進ドリジャン/ギガントドリラーがあって、現時点ではこれに加えて魔進エクスプレスと魔進ザビューンが合体すればキングエクスプレスザビューンになる、と3体もあります。これに加えて、敵方のヨドン軍の蒸気機関車が変形する恐竜型メカ、スモッグジョーキー(えー、蒸気機関車は煙を吐くからですね)と魔進エクスプレスが(なぜか)合体するキングエクスプレス。

問題はキングエクスプレスザビューンで、キラメイジャーロボ

シリーズ02のキングエクスプレスセットと、DX魔進ザビューンの2つを入手しないと、キングエクスプレスザビューンにならないのです。すばらしいですね。

このニコイチシステムは玩具だけでなく、食玩というか食玩プラモも同様になっており、そもそも一つ360円+税ぐらいの食玩プラモを6つ集めないと、一つのロボになりません。それどころか、魔進ドリジャン/ギガントドリラーのNo.6にギガントドリラーの腰(だけ)とスモッグジョーキーの足が入ってて、だから2つのシリーズ、合計12個買わないと揃わないシステムになっているわけです。腰だけ。すばらしいですね。

まあでもロートルファンとしてはビッグワンガム程度かと思ってたのですが、そんなもんじゃなく技術が進歩してきました。なにしろランナーから部品をポキポキ折って取り出しても、ほとんど跡がつかないぐらい、ランナーとの接合部が緻密に設計されてて驚きました。あとはシールが攻めに攻めてて細かいこと。老眼には辛いです。

も、この曲はライブラリに入ってはいません。となると、一番近い「ウルトラマン」の曲が選択され、再生されるわけですが、なので「R/B」が再生されるという仕組みになっているようです。じゃあ「ウルトラマンの歌」の歌でなんとかなるかという、なんともしません。諸行無常。

まあまだこれは良い方の話であって、問題の核心はカバー問題にあります。カバーはオリジナルであればこそではないか、と思うわけですが、Amazon Musicではオリジナルとカバーを区別しないようです。少なくともどの曲を再生するかのアプローチにおいて、どれがオリジナルでどれがカバーかを弁別し、オリジナルの再生頻度を高くするような操作は一切されていないように見えます。それが公平といえど公平なのかもしれませんが、オリジナルに対するリスペクトが足りないというか、自分が何再生しているのかわかってないんじゃないかとも言えなくもありません。カバーはカバーとして、権利処理して発売され、それがサービスに収容されているものとは思いますが、それでもオリジナルは一つしかないのに、カバーは多数あるわけです。それぞれが均等に重み付けされているのであれば、当然カバーが再生される可能性が高くなります。かくして、狙った曲が再生されたとしても、多くの場合はカバーを聞かされることになるわけです。これを乗り越えてオリジナルを再生するためには、アーティスト名と曲名の両方をきちんと認識させる必要がありますが、これが至難の業であることは alexa ユーザーならご存知でしょう。だいたい曲名ももう覚えなのに、アーティスト名をきっちり覚えてるわけがないじゃないですか。かくして、カバーの海に翻弄されながら、偶然再生されたオリジナル

の再生途中に「リピートして！」を繰り返し、曲の再生頻度を上げる努力をします。こうすると、曲名と再生されるファイルの結びつきが強くなるため、再生されやすくなります。なんかこれ、その昔あった犬を調教するゲーム思い出しますな。

あとはテレビ関係の問題として、TV サイズがあります。キラメイジャーの主題歌アルバム、フルバージョンとTV サイズバージョンがあり、ひところはTV サイズバージョンしか再生されませんでした。alexa で何が問題かという、否定検索ができない... ように思われるところです。いや、もしかするとあるのかも知れませんが、知らないです。TV サイズじゃないやつを指定したいのですが、表現の仕方がわからず、ほんの時たまかかるフルサイズバージョンをひたすら繰り返し再生させるわけですが、そうこうしているうちに目的地に着いてしまい、あまりレベルを上げられません。そうか、これってRPGだったんだ。

じゃあプレイリストつくりゃいいじゃん、とか思うでしょ？そう思ってた時代が私にもありました。でもこれ、商標ひねり出す才能が必要です。なにしろ既存の曲名とか、(ユーザーには不可視であり、何が幾つあるのかわからない) Amazon music 自体が管理しているプレイリストとかと名前がかぶってはいけません。その上で、alexa が認識できる音節列でなければいけないという、過酷な状況。まさに魔法=spell であって、言葉を紡ぎ出すことがいかに魔術的であることか、心の底から味わうことができるわけです。つーか、事実上無理じゃんこんなの。自前のプレイリストを指定する前置詞があれば問題ないんだけど、そんなものがあるのかないのかわかりません。とりあえずそれなりに使えるんだけど、本

気で制御しようと思うと大変奥が深いのが音声 UI です。まあ、このあたりの状況は人間相手でも一緒なわけで、GUI とか CUI とかいった二次元ディスプレイを使える UI では空間を消費することで選択肢を一覧で出せるのに対し、音声だと時間を食わないと選択肢を提示できないところに問題があります。人間の場合は表情というディスプレイがあるため、数音節で「やばっ、地雷踏みそうじゃん」とか軌道修正するわけですけど、顔色がわからない(まあ、オレンジやら青やら赤やら色は変わりますが...) alexa 相手では細かい制御ができかねますな。

今現在の最大の問題としては、曲の再生が終わってから「リピートして」と再生の繰り返しをオーダーすると、「通知はありません。」という、木星の向こう側からアステロイドベルトを乗り越えた返事が帰ってくることで。なんでこうなってるのか皆目見当が付きませんが、再生回数を増やしてレベルを上げられないのが辛い所です。

まあそれでも良いところはあって、夢が MORI MORI な森口博子さんのオリジナルな「水の星へ愛をこめて」が配信されて、簡単に検索できるのがいいですね。あの「うずもれたー」の「たー」部分、ただただまっすぐ伸びやかにたー、と声が出ていて、何度聴いても惚れ惚れするところです。通信できる状況であれば、いつでもどこでも「たー」を楽しめるのは一ついいところですね。まあ、音源持ち歩けば解決する話ですがね。

Hiroyasu Sakaguchi
株式会社 IMAGICA Lab.